

事業承継早めの一步

サイレント廃業をなくそう～11月は事業承継啓発月間～

11月は事業承継啓発月間

事業承継早めの一步

月間イベント内容

- 事業承継を後押し
～地域に残したい、愛されるお店を大募集～
- 事業承継に関するTV特別番組およびラジオ番組
- 事業承継関連セミナー・交流会
- 支援機関・士業向けセミナー
- 事業承継座談会with自治体

【主催】内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、(独)中小企業基盤整備機構沖縄事務所、沖縄県事業承継・引継ぎ支援センター、内閣府沖縄総合事務局

【協力】沖縄県事業承継ネットワーク

詳細はこちらから
[QRコード](#)

内閣府沖縄総合事務局
経済産業省中小企業課



沖縄都市モノレールでも投稿を呼びかけました！

沖縄県は、企業の後継者不在率が全国平均の52・1%を上回る65・3%と高く、後継者不在の企業においては、黒字経営のまま、廃業に至ってしまうケースがあります。地域に根付き、人々の生活を支えてきた企業は、地域の活動を支える重要な存在であり、地域の大変な経営資源の消失を防ぐためにも、事業を引き継いでいくことは重要です。

このような後継者不在の状況を改善させるため、沖縄県・独立行政法人中小企業基盤整備機構沖縄事務所、沖縄県事業承継・引継ぎ支援センター、内閣府沖縄総合事務局では、毎年11月を「事業承継啓発月間」と設定し、事業承継に関連したイベント等を集中的に

実施することで、事業承継の重要性を広く周知し、理解を深めていただく取組を実施しています。近年は後継者不在率が減少傾向にあるものの、地域の小規模事業者に目を向けてみると、長年続いたお店がどこにも相談できずにひつそりと廃業する、いわゆる「サイレント廃業」が相次いで発生しています。そこで、今年度の事業承継啓発月間は「サイレント廃業をなくそう」をテーマに、様々なイベントを実施しました。



小規模事業者は、経営者の高齢化による後継者問題を抱えているものの、第三者に相談しない、相談窓口の存在を知らないなど、行政や金融機関の情報・支援が届きにくいという状況にあります。

こうした事業承継支援が届きづらい小規模事業者を発掘し、後継者探しのサポートを行うために、SNS (Instagram, X, Facebook) にて「#未来につなぐ沖縄の店」の投稿で、地域に愛されるお店を募集しました。沖縄県事業承継・引継ぎ支援センターのSNSや沖縄都市モノレールの中吊り広告等にて投稿を呼びかけ、集まった声をもとに、同センターと連携して、事業承継に悩んでいる事業者の掘り起こしにつなげていきます。

○
● 地域に残したい、
愛されるお店を大募集 ●

ラジオ番組とのタイアップ



ラジオカーインタビュー

令和6年11月5日のRBC-iラジオ「MUSIC SHOWER Plus+」では、「事業承継DAY」サイレント廃業をなくそう」をテーマに、実際に事業承継を経験した事業者とその支援者（沖縄海邦銀行×株式会社クリード沖縄、沖縄銀行×株式会社石川保安商会、琉球銀行×株式会社沖城ポンプ×有限会社石川電設工業）にご出演いただき、事業承継ストーリーを語っていただきました。事業を継ぐ側と継がれる側のマッチングを、金融機関が中心となつて県内支援機関等と連携して行つた事例で、双方が「事業を存続させたい！」という熱い思いを持つていたことが事業承継につながつたというお話を聞くことができました。ほかにも、事業を承継したお店でラジオカーインタビューも行いました。



スタジオの様子

女性あとつぎ交流会

リスナーの皆さまからは、地元で愛されるお店や、家族との思い出のお店を募集したところ、「ずっと通っていたが、店主が高齢で、サイレント廃業した」「子供のころからあつた食堂が閉店してしまったので、すごく残念だった」というメッセージが数多く届き、リスナーの皆さまに事業承継の重要性を知つていただきつかけにもなりました。

苦労した点やワークライフバランス等、具体的な経験談をお話しいただきました。この後のグループシェアタイムでは、同じ女性あとつぎという立場で、経営上の悩みだけでなく、ライフステージと女性あとつぎとしての悩み、今後のビジョン等について、活発に意見交換が行われました。交流会後、参加者からは「女性目線でリアルな話を聞くことができて良かった」や「今後経営していく上でのヒントを得られた」等の声が寄せられ、交流会の継続を求める声も多く挙がりました。



女性あとつぎ交流会

地域事業承継支援に関する座談会

令和6年11月20日、女性経営者特有の課題の共有や気軽に相談できるネットワークづくりを目的に、「女性あとづぎ交流会」を開催しました。

先輩あとづぎ経営者である、有限会社育陶園 代表取締役の高江洲若菜さん、株式会社丸元建設 代表取締役社長の糸数幸恵さんをゲストとしてお招きし、先代の後を継ぐ前から現在まで、

沖縄県事業承継・引継ぎ支援センターでは、商工会等と連携して地域の支援対象者の掘り起こしを行っています。しかしながら、支援センターの存在を知らない小規模事業者も多く、自治体と連携した取組が必要です。

他にも、アトツギイベント「ACT-Meetup那覇」（主催・中小企業庁）、「継ぎ活講座」（主催・沖縄県）の開催、事業承継に関するテレビ特別番組放送や新聞特集など、事業承継に必要な知識や情報の提供を行いました。



事業承継座談会（八重瀬町）

八重瀬町では、八重瀬町農林水産課が中心となり、商工会や金融機関等とともに八重瀬町における事業承継支援について検討する座談会を開催しました。また、南城市とコザ信用金庫の支援事例を紹介する座談会を開催し、特集記事として新聞に掲載することで、地域における事業承継支援の重要性を広く県民に対しお伝えしました。

お問い合わせ先

経済産業部 中小企業課
☎ 098-860-1755